

分野（領域）	専門基礎分野	科目名	保険医療論		
単位（時間）	1（15時間）	開講時期	1年次	2年次	3年次
講師	外部講師				
科目目標	1. 看護の意義・倫理について学ぶ。 2. 病と概念の変遷・しくみ・医療における経済性を学び、これからの時代における望ましい医療のあり方と医療の担い手に必要とされる資質について理解する。 3. 公衆衛生の概念、人間と環境との作用について学ぶ。				
【講義内容】					
第1章	医療と看護の原点 A. 命について考える B. 健康とは C. 病の体験 D. 癒しの行為と癒しの知 E. チーム医療とマネジメント				
第2章	医療の歩みと医療観の変遷 A. 現代医療の起源 B. 我が国の医療がたどってきた道 C. 20世紀の医療 D. 医療観のうつりかわり				
第3章	私たちの生活と健康 A. もし私たちが病気やけがをしたら B. 私たちの生活と環境衛生、保健福祉行政 C. 疾病の一時予防と健康増進 D. 少子高齢化社会と世代間のきずな E. 障害者のノーマライゼーションと社会的包摂 F. 心の健康と精神医療				
第4章	科学技術の進歩と現代医療の最前線 A. 科学技術の進歩と社会・生活の変化 B. 現代医療と先端医療技術の最前線				
第5章	現代医療の新たな課題 A. 薬の副作用と手術偶発症 B. 医原病という考え方とケアの実践 C. 先端医療技術がもたらす論理上のジレンマ D. 生命倫理学と臨床倫理学の展開 E. 産業社会の発展と地球環境問題 F. 医療不信から「賢い患者」へ G. インフォームドコンセントと医療情報の開示 H. 医療情報の開示と診療録				
第6章	医療を見つめ直す新しい視点 A. 臨床疫学—医療における合理的判断 B. 患者の安全 C. 医療の管理と評価 D. これからの先端医療開発 E. 情報化社会と医療				
第7章	保健・医療・福祉の潮流 A. 医療変革の波とともに始まった B. 新時代の保健・医療の担い手 C. プライマリーケアの新たな展開 D. 医療におけるケアの視点 E. 保健・医療の国際化 F. 地域包括医療システムの新しい展開 G. 保健・医療・福祉システムと地域住民の役割 H. 地球時代におけるケア				
総合医療論					
第1章	公衆衛生のエッセンス A. 公衆衛生とはなにか B. 世界の公衆衛生の歴史 C. 日本における公衆衛生 D. 戦後の展開—新たな公衆衛生の理念 E. 公衆衛生を看護に取り組む力				
第5章	環境と健康 A. 環境と健康 B. 地球規模の環境と健康 C. 身の回りの環境と健康 D. 日本の環境行政				
第6章	感染症とその予防対策 A. 感染症とその予防の基礎知識 C. 院内感染とその予防 D. 公衆衛生上の重要な感染症とその対策				
第7章	国際保健 A. 世界との出会い B. 経済格差と健康格差 C. 健康格差の解消のために D. 国際保健の担い手 E. 国際保健の共通目標 F. 国際保健と日本 G. 正解のない課題を前にして				
第9章	学校と健康 A. 学校における健康とは B. 学校保健の展開 C. 特別な支援を必要とする子供たち				
第10章	職場と健康 A. 職場における健康 B. 職場における健康を守る仕組み C. 産業保健活動の展開 D. 産業保健における今後の課題と新たな動き				
第11章	健康危機管理・災害保健 A. 健康危機管理 B. 災害保健				
【テキスト／参考文献】					
健康支援と社会保障制度[1] 総合医療論 第1章～第7章 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生 第1章、第2章、第5章、第8章					
【評価】					
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする					